



ありがとう ございました。

プラムジャムの午前の学びの場、ごぜん塾も2026年3月をもちまして、終了となりました。講師の皆さま、ならびに参加いただいた多くの方に感謝いたします。

これまでの主な教室内容

2014年9月～12月

- 「シニア向け iPad でお買い物教室」
- 「パソコン、スマホ、タブレットお困りごと相談」
- 「キホンのデッサン」
- 「クリスの Practical English」
- 「ウクレレソロをひいてみよう」
- 「ビートルズから学ぶ楽しい英語」

2015年～2026年3月まで

- 「ハンドエステ体験」
- 「縮み物基本体験」
- 「子育て力 UP 講座！」
- 「ベビーマッサージ体験」
- 「英会話英語お困りごと」
- 「クリスマスドア飾りづくり」
- 「Saturday Night Music Club」
- 「こどもの心をひらく声かけ講座」
- 「もう一度、イチから始める写真撮影」
- 「ソロバン脳トレ」
- 「オンガク夜話26回」
- 「シニアプログラミング入門講座」
- 「もう一度書道にチャレンジ」
- 「あなただけのオリジナルの本を作る」
- 「はじめてのスペイン語」
- 「楽しく絵手紙」
- 「English Morning」
- 「ロザルバの楽しいイタリア語講座」
- 「ドイツ語レッスン」
- 「ハワイアンリボンレイ」
- 「ミニプラかご作り」
- 「ゆるっと保健室」
- 「暮らしに活かす薬膳体験」

これまでの主な講師

- PCスマホ相談 隈井 裕之
- ハンドエステ講座 藤井 麻由美
- ドイツ語講座 アンドレアス シモンゼン
- ウクレレ講座 今田 清英
- イタリア語講座 ロザルバ ディ メグリオ
- 写真講座 富澤 享
- ソロバン脳トレ講座 緒方 恵子
- 音楽&英会話講座 マーサ
- 薬膳体験講座 雨宮 ひろみ
- スペイン語講座 村内 カリン
- 習字講座 山根 浩子
- 英会話講座 クリストファー・ロビン
- 英会話講座 長部 明香
- デッサン講座 山内 唯志
- 英会話講座 クリストファー・ロビン
- ミニプラかご作り講座 ユウユウヒユミナ
- 国立のまちかどで、デッサンを描きながら受講者の皆さんと共に成長出来ました。またどこかのまちかどでお会いしましょう！
- くにたち地域コラボの皆さまのお力添えで、私の夢の「ごぜん塾書道」を開始。相談やセミナーでも支えられました。感謝申し上げます。今度は矢川プラスでお会いしましょう。

ぎゅっとハンドでつながった手のめくもり。手のひらから伝わる優しさに私の心も癒されました。赤ちゃん連れのママや近所の方々、たくさん「ありがとう」に感謝。

場所をKFまちかどホールに移し、心機一転「AI・スマホ・タブレットお困りごと相談」として続けていきます。

写真講座を開講していました。携帯に押し込んで今更カメラをやりたい人がいるのかと思いつつ始めた講座ですが、キチンと写真を撮りたいという方と出会えることが嬉しかったです。

あなたの「まち活」
応援します！



くにたち プラムジャム通信

Kunitachi
PLUM JAM - NEWS

- ▶ P1 役員よりご挨拶/組織解散&最終号
- ▶ P2～3 くにたち地域コラボの歩み
- ▶ P4 ごぜん塾/講師、感謝のコメント

発行 ▶ くにたち地域コラボ

Cover story

市民活動支援で大切なことは、
広報とつながり、学び、そしてお金。
中間支援の役割を終えて



2013-2026
PLUM JAM

これまでお世話になりました！
2026年3月 くにたち地域コラボは解散します！

くにたち地域コラボが、富士見台商店街の一角で市民活動支援を始めたのは2013年春。市民活動をもっと身近なものに、「NPO」を当たり前にしたい、それが中間支援組織としての当初の目標でした。

まず力を入れたのは何といっても広報です。広報誌創刊（この『プラムジャム通信』）やWebサイト、SNSともリンクして情報発信を強化。商店街や隣接するNPOともつながりを深めて協力しあい、時代の課題に対応した研修は、市民だけでなく役員にとっても新たな刺激と学びとなるように企画

しました。資金調達の助けにと会員に提供した助成金情報はいくつもの団体に活かされたようです。そうして会員登録数はこの12年間で約3倍に。

そこで当初掲げた目標を一定程度果たしたということもあり、くにたち地域コラボは2026年3月末で解散することになりました。

おかげさまで、これまで多くの方にご支援ご協力いただき、本当に感謝しています。国立市の市民活動がさらに発展し、行政との協働が進むことを心から願っております。

ありがとうございました。

くにたち地域コラボ 役員一同

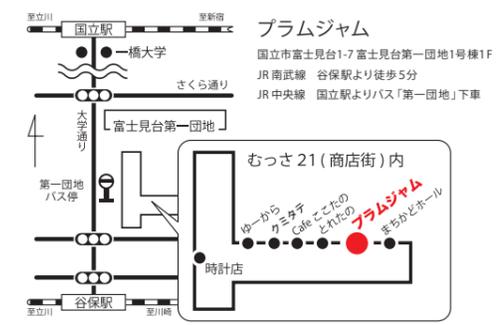


お世話になったみなさま

(Writer&Designer&Photographer)：成瀬あい(ナカミチカフェ)、有田夏希、田村さやか、佐野英司、大石祐輔、加藤優、日下文世、崎谷未央、吉野佳、NPO法人くにたち富士見台人間環境キーステーション(今村彩穂、甲斐田愛子、清水雅文、メ木洋人、辻川高太郎、中川孟、長須賀文、根子蓮太郎、森田優香里、渡邊翔太)、大川清(敬称略)

2026年4月以降のお問い合わせは以下まで

国立市 まちの振興課 **042-576-2111**



くにたち地域コラボの歩み



くにコラの歴史
がココに!



(プラムジャム通信) 創刊号



START!



1998年に誕生したNPO法により、新しい公共の担い手としてNPOが注目されるなか、国立市では2004年4月、富士見台に「くにたちNPO活動支援室」が設置されました。市役所から80万円の事業委託費が初めて予算化されたのは2006年「協働推進の指針」策定後。2013年には支援室は「プラムジャム」と名前を変えて、くにたち地域コラボ(くにコラ)が運営を引き継ぐことに、『プラムジャム通信』の創刊や、午前中のドアを開けて商店街にも歓迎された「富士見台ごぜん塾」のスタート、さらに大型の助成金申請採択で学習支援事業と、さまざまな試みを続けてきました。2024年には国立市内のNPOなどを取材して『市民活動調査報告書』をとりまとめ、同年秋に初めての市民交流会「くにたち市民コラボフェスタ」(@矢川プラス)を行政との協働で開催しました。

※「くにたち地域コラボ」報告詳細については、Webサイトにてご覧いただけます。

